

【歴史総合】 第1章 アジア諸地域の繁栄と日本②

☆明王朝と清王朝は同じ中国でも全くの別物！

◎明の発展と衰退

(1) 元の滅亡と明の成立

○元…中国の地に存在したモンゴル民族による国家

- フビライやバトゥといったチンギス=ハンの子孫たちの活躍によって広大な領土を手にした
- しかし経済の悪化が続くなど、国民の不満も募るようになっていった
- 【1】 が勃発
- 【1】 で頭角を表した【2】 により明王朝が誕生する

○明…中国に存在した【3】 民族による国家 / 【2】 の活躍により建国

※【3】 民族とは

- 400年間続いた漢王朝の影響を大きく受けた中国の地に古くから存在する民族

日本が江戸時代していた鎖国も同じ！

(2) 明王朝の特徴

①【4】 …国家による貿易統制 (=鎖国) / 民間は自由に貿易ができない

Point 明王朝は【5】 形式により周辺諸国と交易をおこなっていた

※【5】 貿易とは

- 周辺諸国の首長が中心国の王朝 (中国) に使節を送り、貢物を持っていく
- 中心国の王朝 (中国) はその見返りとして首長をその国の支配者として認可する

Point 【3】 民族が持つ**中華思想**と相まって、この貿易形式が採用された

※**中華思想**とは

- 中国が世界で一番であるという思想

②対外政策の発展…当時**宦官**だった【6】 による海外遠征

- 【5】 してくれる国を探す

③【7】 という海賊集団に苦戦

※【7】 とは

- 略奪行為を働いていた日本人中心の海賊集団 / 後半は中国人も多数参加していた様子

Point 明王朝は日本と中国人を遠ざけるように仕向けた

- この両者の関係をうまく利用し、貿易で利益を上げた国が【8】 だった
- 【8】 が日本で行った貿易を**南蛮貿易**という

※当時、明王朝が頭を抱えていたのは【7】 だけではなかった

- 明王朝の皇帝がモンゴル人に捕まってしまうという大事件 (【9】) が発生
- 中国北部と南部でそれぞれ問題を抱えているこの時の状況を【10】 という

明王朝は北も南も対処しなければ
ならないことでいっぱいだった

◎清の発展と衰退

(1) 明王朝の衰退と清王朝の成立

○漢民族により建国された明王朝は徐々に勢力弱体化 → 満洲族が力を強めていった
《清王朝成立までの流れ》

①ヌルハチという人物が女真族（後に満洲族に改称）を統一し、**後金**を建国

②後金は**八旗制**（八つの軍隊を編成）を開始し、軍事力の強化に努めた

③明で【11】が勃発 → 後金では2代目皇帝【12】が誕生

④2代目皇帝【12】は国号を中国風の『清』に変更し、中国全土を支配する

(2) 清王朝の特徴

①異民族（満洲族）によって建国された王朝

Point 清王朝は中国の地に大勢いる漢人とうまく付き合っていかなければならない

②優秀な皇帝の擁立（清朝前半）…【13】 → **雍正帝** → **乾隆帝**

Point 清朝が成立直後は優秀な皇帝の指揮のもと、反清運動の制圧と領土拡大を同時に行った

※反清運動の抑圧…【14】による反乱の鎮圧・三藩の乱など

※領土拡大…ロシアとの国境争い（キャフタ条約・ネルチンスク条約）

③アメとムチの政策

※アメ…漢民族やモンゴル人の政治参加の認可・【15】に基づいた官僚制度の継続

※ムチ…【16】の強制

④外交…貿易の自由化により経済が活性化（貿易の場所は広州に限定していた）

※輸入…アメリカ大陸からトウモロコシやサツマイモが伝来（山地でも栽培が可能）

※輸出…中国の茶がヨーロッパでブームに！

Point これらの作物の栽培増加により自然破壊が進んだ！？

【国民の不満】

【17】の乱

中国の人口が増加！
（食糧が確保できるため）

(3) 当時の日本の様子…戦国時代真っ只中

○織田信長（全国統一間近で**本能寺の変**が勃発）

○豊臣秀吉（全国統一を成し遂げる → 【18】の役を実施するも失敗）

○徳川家康（江戸幕府を開き、約250年間、日本で政権を握ることとなる）

【穴埋め解答】

- | | | | | |
|----------|----------|---------|----------|---------|
| 1 紅巾の乱 | 2 朱元璋 | 3 漢 | 4 海禁政策 | 5 朝貢 |
| 6 鄭和 | 7 倭寇 | 8 ポルトガル | 9 土木の変 | 10 北虜南倭 |
| 11 李自成の乱 | 12 ホンタイジ | 13 康熙帝 | 14 鄭成功 | |
| 15 科挙 | 16 辮髪 | 17 白蓮教徒 | 18 文禄・慶長 | |